

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月15日(木)

事務事業		道路台帳整備管理事業		担当課	道路管理課	担当係	調査係	管理番号	48531	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり		根拠法令 個別計画等	道路法				
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		道路整備や私道の寄附受入れ等による道路形態の変更等を、道路法により調製、保管が義務付けられている道路台帳へ反映させるための事業である。								
目的 ※何のために		道路台帳の適正な管理								
対象 ※誰・何を対象に		市道								
手段 ※どのように		道路台帳整備（面的）及び修正（線的）について、業務委託を行い、現地の測量や図面作成等を行う。また、作成された図面を活用しGISへ搭載する。								
成果 ※何を求めるか		深谷市全体で道路台帳の統一化を進め、修正により最新の情報を反映させることで、適正な道路管理ができる。また、GISへ搭載することにより窓口業務の簡素化を行うことができる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	8	土木費	1	土木管理費	1	土木総務費	道路台帳整備管理事業	34,056,102
本事業の 主な業務		・道路台帳整備委託業務							・	
		・道路台帳修正委託業務							・	
		・道路台帳の管理							・	
		・道路幅員証明書発行業務							・	
		・市道の認定・廃止							・	
		・道路台帳平面図更新データGIS搭載業務							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		道路台帳修正 道路台帳整備	道路台帳修正 道路台帳整備	道路台帳修正 道路台帳整備			
事業費	予算（現額）	24,703,000	34,428,000	40,370,000	24,805,000		
	決算額	24,552,000	34,056,102	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	24,552,000	34,056,102	40,370,000	24,805,000	
人件費	従事職員数（人）	1.37	1.42	1.45	1.45		
	人件費相当試算※	10,633,824	11,174,771	11,884,761	11,884,761		
総事業費試算		35,185,824	45,230,873	52,254,761	36,689,761		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	図面作成数		目標値	枚						
			実績値		103.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			他部署の道路改良工事等の成果によるため、目標値の設定なし。 / 道路台帳						
	実績値の算出式									
成果指標 1	修正の実績率		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績値		100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			他部署から修正依頼を受けた路線は、全て修正を行うため、１００％とする。 / 道路台帳						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	道路形態の変更等に伴う道路台帳の修正及び整備を反映した図面を103枚作成した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	必要な台帳修正及び整備を道路台帳に反映することができた。また、GISに搭載できる地区について、全て搭載することができた。
			評価者 調査係長 門倉 孝

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	道路整備や寄附などによる道路形態に反映させた道路台帳を修正することにより、現地と整合を図ることで道路管理上効果的である。また、GISに搭載することで窓口業務でも効率的に活用することができた。
			評価者 調査係長 門倉 孝

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	道路台帳修正等業務は、継続して実施する。また、紙図面の窓口対応の改善を図るため、この場所の事業量を把握する。
達成状況及び その効果	道路形態に反映した道路台帳修正等業務は、継続して実施することができた。また、紙図面の窓口対応の改善に向けた事業量34.65kmを把握することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	道路台帳整備管理事業	担当課	道路管理課	担当係	調査係	管理番号	48531
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		道路改良工事等を実施した路線は、最新の情報を道路台帳に反映させ、GISへ搭載することが出来ているが、一部、GISへ搭載されず、紙図面での窓口対応を行っている地区がある。 このため、今後市内全域をGISへ搭載に向けた業務を進めることにより、更なる窓口業務の事務効率化を図る。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	道路管理課長 茂木 隆行				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	一部の地区の道路台帳が路線毎に分散されているため、複数の路線を1枚の図面に載せるメッシュ化とする業務を令和4年まで進めてきており、令和5年度に市内全域のメッシュ化を終了させる。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	メッシュ化した道路台帳図面をGISに搭載することにより、大幅な事務改善、効率化を図る。

8. 評価指標グラフ

